

研究課題名「大腸癌肺転移に対する術前化学療法の意義」に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年から2017年に当院で肺転移切除を施行した患者さん

2. 研究目的・方法・研究期間

大腸癌肺転移の手術症例は少なくないが術前化学療法の適応、効果はまだ明らかではありません。

大腸癌肺転移に対する術前化学療法(NAC)の意義を検討し、本研究は上記対象症例の臨床情報を後ろ向きに解析を行います。

研究期間は実施承認日から2021年3月31日までを予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：術前検査、既往歴、手術記録、術後経過、術後合併症の発生状況、カルテ番号等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話番号：052-741-2222

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院消化器外科 1 上原圭介